

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代 です

No. 79

2018・3・25

連絡先

453-7758

議会報告 2月報

2月議会が3月22日に閉会しました。今回は、5日に行われた代表質問に立ちました。社会保障(県・医療構想、国保、生活保護)、環境問題(産廃・メガソーラー)など4点について質問しました。次号と2回に分けて報告します。

安心の医療・介護の確保を!

2014年制定の「医療・介護総合確保推進法」の導入による「地域医療構想」が2018年度から本格的に始まります。高齢化のピークとされる2025年に向け「病床機能の再編」を進めるため、政府は補助金をつけて入院ベッド機能の転換や廃止を進める計画。削減したベッド分は「在宅医療」と「介護」でカバーします。和歌山県

も「地域医療構想」を策定し、2025年に向け9500に削減する計画です。和歌山市には大きな病院が4つあり救急医療への影響や医療環境の悪化が懸念されます。

また、国は一定の



市長は、国からの受託事務であり、現行法令の許可基準に基づき、厳正な判断が求められる。地域

有功地域のメガソーラー計画は事業者にも同意しないと明言すべき

すが受けられることは重要なこと。必要に応じて国に要望していく。健康局長は、和歌山保健医療圏(和歌山市、海南市、紀美野町)では2025年の必要ベッド数は773減と見込んでい

る。介護保険制度は、必要な方に必要なサービスを受けて頂けるような制度を維持するため県市長会等を通じ国に要望すると答弁しました。

業者に「産廃建設計画は断念を」と伝えよ!

私は、林地開発の事前手続き、紛争予防条例に基づく指導、助言が行われているが、市長として、事業者に対し、計画を断念するよう伝えるべきだと思うがどうかと質問しました。



(3月4日、JR和歌山駅前で産廃反対行動に参加)

の意見を十分尊重し、市として慎重に判断していくと答弁しました。



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

所得者の介護サービス利用料を3割に引き上げる。介護認定率を低く抑えた自治体は給付適正化の努力をしたとして予算を優先的に配分するとしています。市長として、県・地域医療構想の認識と安心の医療・介護の確保及び、国や県に意見をいうことを求めました。市長は、安心して医療・介護サービス

私は、市長として事業者に対し、住民の暮らしと安全を守る立場で「同意しない」と明言すべきではないかと質問しました。市長は、市の行政財産である里道の効用廃止申請については、関係自治会の同意書等が整っておらず、対処されない場合は同意できないと考えている

と答弁しました。

いずみ山系の森と川を守る
コンサートのお知らせ

日時 5月12日(土) 13時30分
会場 北コミュニティセンター
参加費 500円
主催 いずみ山系の巨大太陽光発電を考える会

※車でのご来場は乗り合わせしてお越し下さい

さらなる市民と野党の共同を!

補見後援会総会報告

・総会を開催。
由良氏は、安倍



(講演される由良弁護士)

2月25日、「市民連合わかやま」共同代表の由良登信弁護士を講師に招き、補見後援会の学習
政権の戦争する国づくりを批判し、戦争法可決後も広がる運動が市民と野党の共同に繋がったことを紹介。由良氏が



(決意表明する南畑)

野党共闘で奮闘した参院選や、衆院選では、日本共産党の選挙区候補を市民連合が推薦したことを振り返り「時代は本当に変わろうとしている」と、さらなる市民と野党の共同を呼びかけられました。また、

3.30国際女性デー 和歌山市集会 沖縄への熱い思い胸にあふれて!

3月10日「沖縄と連帯して」をテーマに中北幸次さんを講師に取り組みされました。「うたごえオールスターズ」の歌と共に辺野古の座り込みや現地の90歳のおばあ体の験から歌を作られたこと、3000万人署名の歌など心ゆさぶられることが何度もありました。その中で一番心に激震が走ったのは沖縄の北端、辺戸岬(へとみさき)に建つ「祖国復帰闘争碑」の碑文を紹介されたことです。是非知って頂きたいので紹介します。

全国のそして全世界の友人へ贈る

吹き渡る風の音に 耳を傾けよ
権力に抗し 復帰をなし遂げた 大衆の乾杯の声だ
打ち寄せる 波濤の響きを聞け
戦争を拒み平和と人間解放を闘う大衆の雄叫びだ
“鉄の暴風”やみ 平和のおとずれを信じた沖縄県民は
米軍占領に引き続き 一九五二年四月二八日
サンフランシスコ「平和」条約第三条により
屈辱的な米国支配の鉄鎖に繋がれた
米国の支配は傲慢で 県民の自由と人権を蹂躪した
祖国日本は海の彼方に遠く 沖縄県民の声は空しく消えた
われわれの闘いは 蟻螂の斧に擬された
しかし独立と平和を闘う世界の人々との連帯であることを
信じ 全国民に呼びかけ 全世界の人々に訴えた
見よ 平和にたたずまう宜名真の里から
二七度線を断つ小舟は船出し
舷々相寄り勝利を誓う大海上大会に発展したのだ
今踏まえている 土こそ
辺土区民の真心によって成る冲天の大焚火の大地なのだ
一九七二年五月一五日 沖縄の祖国復帰は実現した
しかし県民の平和への願いは叶えられず
日米国家権力の恣意のまま軍事強化に逆用された
しかるが故に この碑は
喜びを表明するためにあるのでもなく
ましてや勝利を記念するためにあるのでもない
闘いをふり返り 大衆が信じ合い
自らの力を確め合い決意を新たにしようためにこそあり
人類が永遠に生存し
生きとし生けるものが 自然の攝理の下に
生きながらえ得るために 警鐘を鳴らさんとしてある

安倍首相は総理も国会議員もやめて!

3月12日、森友学園との国有地取引を巡って明らかになった安倍政権による公文書改ざん事件。13日から全国各地で「主権者をなめるな」と抗議行動が行われ、連日の抗議行動が続いています。JR和歌山駅前でも緊急の街頭宣伝を取り組まれ、約30人の方が集合、市議団からは森下、松坂議員と私が参加しました。関心の高さはいつもとは違い、「安倍さんはもう辞めてもらわな」などの怒りの声が寄せられました。16日の夜の首相官邸前には1万5000人の人々が、真相解明・総辞職を

求めて集まりました。ある方は、「この問題で近畿財務局の職員が亡くなり、いてもたってもいられなくなりました。一人でも踏み出せば何かが生まれる」と発信し、参加者が増えています。一人一人が声をあげ、今こそ韓国のように私たちも大きく声をあげ、政治を変えましょう。



(3月13日和歌山駅で)

無料生活法律相談

日時：4月6日(金)
午後6時~7時
(曜日と回数が変更になっています。ご注意ください)
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10~12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています
お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)

1月~2月の生活相談件数

住宅	2件	介護	2件	法律	2件
障がい	4件	医療	1件	国保	1件
生活保護	2件	環境	1件	その他	1件